

施策分析シート

No1

施策名		安心・安全な道路環境の推進		施策No		14-04		部課名		土木部管理計画課	
								課長名		藤嶋敏夫	
								内線		2710	
関連部課名		土木部道路課									
行政評価事業体系		分野		防災・まちづくり・環境							
		政策		快適な生活環境の整備							
目的		強力かつ効果的な交通安全運動を広く展開し、交通ルールの遵守・マナーの向上を目指し、区内警察・交通安全協会・民間団体等が連携・協力体制のもと、交通事故や交通公害のない安全で安心して住める街荒川区を築いていく。									
指標		施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明			
				平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(28年度)				
		①	交通事故件数(自転車事故)	910(466)	911(480)	—	820(430)	交通安全運動を積極的に実施し、交通事故を減少させる			
		②	交通安全運動参加者(人)	4,157	3,609	—	8,000	交通ルール・マナーの向上、そして啓発活動の充実			
		③	自転車免許講習会参加者	1,262	810	1,300	2,000	自転車免許講習会参加者の拡大を図る(現在累計4,500人)			
		④									
		⑤									
現状と課題		① 年々自転車事故が増加し、交通事故に占める自転車事故が23区ワースト1 ② 交通安全運動の中心的役割を担っている交通安全協会の活性化と組織拡大が必要 ③ 「スピード出しすぎ」、「子供を乗せ携帯電話している」、「一時停止不履行」等々のルール・マナー 違反している自転車利用者の増大 ④ 高齢者の事故防止 ⑤ 自転車運転免許証講習会への参加者拡大、特に高齢者、女性の参加促進									
今後の方向性		前記①②③④⑤の課題解決のため、交通ルール・マナーの遵守を徹底するための交通安全啓発活動充実、また、区・警察・交通安全協会・各関係機関・区民が一体となった幅広い交通安全運動を展開していく。そして、より効果的な交通安全施策等について交通安全協議会の中で審議しその成果を交通安全施策に反映していく。さらに、道路の安全機能の整備充実を図り、交通事故の防止につとめていく。									

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
B	悲惨な交通事故を無くし、安全な街の実現

施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
交通安全対策協議会運営費	10-01-02	252	252	A	交通安全に関する総合的施策を審議する重要な協議会
交通安全協会補助	10-01-03	3,920	3,920	B	活動の中心的役割を果たしており、益々の活躍が望まれる
交通安全施設整備費	10-02-09	12,561	11,865	C	道路安全確保のための整備費 (滑り止め・区画線・グリーン舗装)
交通安全資材	10-02-10	4,135	3,136	C	道路安全確保のための資材費 (カーブミラー・防御柵・標識等)
合 計		20,868	19,173		